

公益社団法人愛媛県理学療法士会 2019年度第7回理事会議事録

日時 2019年11月5日 19:30～21:30
場所 県士会事務所 (菊池ビル 3階)

出席者

理事：定松 修一、谷口 千明、木口 大輔、近藤 正太、大森 幸美
青木 英次、金山 浩基、土居 誠治、山崎 祐司、吉野 一弘
公原 央智、伊東 孝洋、中尾 聡志、和田 幸枝、加地 和正
立花 紀子、茶家 康吉
監事：菊池 健蔵、木村 玄宏
部長：後藤 美智子

本日の理事会は理事17名、監事2名の出席により定数を満たしたため、有効に成立。

協議事項・報告事項について別記のごとく審議を行い、参加理事全員の賛成を以て承認とする。

次回理事会開催日は12月10日(火)

以上で第7回理事会は終了した。

2019年11月5日

公益社団法人愛媛県理学療法士会

会長 定松 修一 印

監事 菊池 健蔵 印

監事 木村 玄宏 印

2019年度 第7回 理事会 議事資料

審議事項

[事務局]

1. 総務部 (20191105-01) : 3 ページ

[学術局]

2. 学術部 (20191001-02) : 4 ページ

[職能局]

3. 医療・介護報酬部 (20191105-03) : 5 ページ

[社会局]

4. スポーツ支援部 (20191105-04) : 6 ページ

5. 広報部 (20191105-05) : 7 ページ

[地域局]

6. 地域局 (20191105-06) : 8 ページ

報告事項

[事務局]

1. 総務部 (20191105-07) : 9 ページ

[学術局]

2. 学術部 (20191105-08, 09) : 10 ページ

3. 教育部 (20191105-10) : 12 ページ

[職能局]

4. 地域包括ケア推進部 (20191105-11) : 13 ページ

[社会局]

5. 公益事業部 (20191105-12) : 14 ページ

6. スポーツ支援部 (20191105-13) : 15 ページ

[地域局]

7. 東予地区 (20191105-14) : 16 ページ

[その他]

8. 災害対策検討委員会 (20191105-15) : 17 ページ

9. 組織運営協議会 (20191105-16) : 18 ページ

※ 議題資料作成の都合上、一部添付資料の改行等の加工をしています（内容を除く）。
ご了承ください。

担当理事	大森 幸美	部 長	後藤 美智子
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理者連絡協議会について (資料1) 2. 事業計画について (資料2、3) 3. 女性理学療法士の会主催四国ブロック情報交換会について (資料4) 4. 台風災害への支援について (資料5) 5. チャットワークについて 6. 兵庫医大よりリハビリセミナー広報依頼について (資料6) 		
内 容 ・ 趣 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理者連絡協議会の日程および講師についてご相談したい。 研修会テーマ、講師について： 診療報酬改定関係か働き方改革などの管理業務関係にするかで悩んでいる。 3月に診療報酬関連の研修会があるが1、2月というまだ確定していない時期ということもあり診療報酬で良いのか、他に管理者が興味があることは何なのか、アドバイスをいただきたい。 2. 事業計画について確認をお願いしたい。 3. 四国女性理学療法士の会情報交換会の参加者について推薦をお願いしたい。 4. 被災された士会への支援をどうするか検討いただきたい。 5. 11月より部局長チャットワークを使用するのメーリングとしたいがよろしいか。 6. 広報依頼の可否について検討いただきたい。 		
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1月18日：近藤、加地理事不在、言語聴覚士会法人記念式典あり会長不在。 2月22日：連盟の総会あり、定松、谷口不在。 木口：先月厚生労働省が入って指摘された。監査対策の専門家がいるのでそのような話をしてもらったらいけないか。 定松：民間は高いのでは？だめなら協会の佐々木理事にお願いしてもいい。 金山：表題に監査対策のような言葉があったほうがいいのでは。 2. 菊池：(学術部の県内紹介状の統一化について) システムが入っているところもある。 木口：問い合わせで多いのは、算定疾患、起算日が多いので、叩き台があった方がいいのではないか。 定松：急性期病院で話し合いをして方向性を検討しては。 伊東：(糖尿病デーの研修会について) 3年に1回協力しているだけで研修会ではない。 吉野：(地域局の活動について) 予算のために概略的に立てている。 谷口：(教育部の相談業務について) いい取り組みなので、学術集会時のみだけでなく、生涯学習担当者会議で合意を得た上で、四国学会の時にもにしたほうが良いのではないか。 大森：(総務部アンケートについて) 広く意見を取りたい。 金山：アンケートの結果をまとめる。今後もデータ数を増やしていきたい。 谷口：(学術部の研修会内容について) 小児やウィメンズヘルス等の研修会をしてほしい。収益事業にはならないと思うが、県士会だからこそやるべきなのではないか。 定松：別の先生に相談したこともあるが、2、3年1回でもいいからしてもいい。放課後デイがどんどん増えている。それに関わっている先生に話をしてもらってもいいのでは。 和田：アシストジャパンの森先生がボバースをしている。 定松：療育センター水本先生が学校にも関わっている。 中尾：宇和の幸田先生、放課後デイを経営している。経営者の視点で話をしてくれそう。 4. 青木：どのように出すかはわからないが、他県がしているので可能ではないか。 菊池：一般会計から出せるのではないか。理事会決定で 吉野：県士会の予算規模で許される範囲でいいのではないか 金山：今後も災害は続くので 吉野：どのような基準で出すのか、協会に合致するか 		
審議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1月25日を第1候補、2月15日を第2候補とし、テーマは部門管理者におけるケアプロセスの進め方～適時調査対策に対する取り組みとする。 2. 一部修正する。 3. 会員支援部の名取先生と連盟女性部の渡部先生で打診する。 4. 宮城、福島に10万、千葉、長野に5万とする。送付方法は総務に一任とする。 5. 翌日より部長もチャットワークで連絡を 6. 当会規程に合わないので広報を行わない <p>上記、参加理事全員の賛成を以て承認とする。</p>		

担当理事	木口 大輔	部 長	青木 卓也
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 愛媛県学会について 2. 2020年度理学療法士講習会開催予定について 		
内 容 ・ 趣 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次回の会場も想定しつつ、副会長を選定してほしい。 2. 2020年度理学療法士講習会開催予定について、以下の承認をいただきたい <ol style="list-style-type: none"> 1) 期日調整中 実践！臨床に役立つ臨床研究の具体的手法 -エビデンスの「つかいかた」「つくりかた」「つたえかた」- 2) 期日調整中 脳卒中に対する座位・立位・歩行の実践的アプローチー明日からの臨床に活かす理論と技術ー 3) 10月10日～11日 下肢の徒手理学療法の評価と治療 4) 12月19日～20日 中枢神経疾患の理学療法について（応用編に変更） 		
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 木口：大洲か宇和島で行ってはどうか。どこでできるか検討してほしい。 		
審議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 南予支部で会場も含めて次回の理事会までに決定し、報告する。 2. 承認とする。 <p>参加理事全員の賛成を以て承認とする。</p>		

担当理事	公原 央智	部 長	杉野 哲也
議 題	1. 医療・介護報酬部、愛媛県理学療法士連盟合同研修会について		
内 容 ・ 趣 旨	<p>1. 医療・介護報酬部、愛媛県理学療法士連盟合同研修会について内容の確認と承認をお願いしたい。</p> <p>日 時 令和2年3月8日(日) 15:30から17:00(愛媛県学術集会後)</p> <p>場 所 松山市北条市民会館 (愛媛県松山市北条辻6番地)</p> <p>テーマ 令和2年診療報酬改定の解説と協会の今後の取り組みについて</p> <p>内容 講師 日本理学療法士協会 事務局職能課 戸塚満久 先生</p> <p>1) 診療報酬改定の解説と協会の今後の取り組み</p> <p>2) 質疑応答</p> <p>今回は皆様から事前に質問いただいた内容を上記研修会でできる範囲で質問したいと思っている。もちろん、会場で講師の先生に質問して頂いても良い。なお、質問いただいた内容に対する返答は上記研修会でのみで行う。メールではしないのでご注意ください。</p> <p>申し込み期限 令和2年3月1日(日)</p>		
協議内容	<p>定松：2部制になるのか。</p> <p>公原：以前は受付を分けて行った。</p> <p>土居：学術集会のみ決済代行で、この会は現金の方がいいのではないか。</p> <p>立花：事前質問は難しいかもしれない。話を聞いてから意見が出るのではないか。</p> <p>谷口：講師の送迎は可能か。</p> <p>木口：この方は日帰りか。</p> <p>公原：確認する。</p> <p>定松：泊りなら懇親会を</p>		
審議結果	参加理事全員の賛成を以て承認とする。		

担当理事	中尾 聡志	部 長	成田 甲子朗
議 題	1. 成長期のスポーツ障害予防講習会 四国ブロック講師養成講習会について 2. スポーツ支援部備品の管理について		
内 容 ・ 趣 旨	1. 障害者スポーツ支援事業運動器の健康・日本協会（日本理学療法士協会）より、選出依頼あり ・条件として、PT 協会の会員で、スポーツ現場での経験を有する者 ・今後は日本軟式野球連盟が開催する、少年野球指導者講習会への講師派遣 等 ・参加者：成田 甲子朗（三津整形）、越智 仁紀（今治第一病院）、森山 翔太（松山市民病院）、越智 柁哉（今治社会福祉協議会）の 4 名を選出したい（選出依頼は 5 名程度） 2. スポーツ支援部備品の管理について ・現在スポーツ支援部の備品（テーピング・救急セット・ヨガマットなど）を三津整形に保管させていただいている ・備品数も増え、三津整形のみでは保管できない状況となっており、他の保管場所の検討が必要 ・可能であれば、事務所（菊池ビル）にて保管させていただきたい ・その場合、各事業の前に支援部員が事務所に入出入りする必要があるが可能か？		
協議内容	2. 青木：鍵の管理は人数を絞り込んでほしい。 中尾：成田、上甲先生にしたい。 菊池：1階の美容室に配慮してほしい。 谷口：ノートで入室管理をしてはどうか。		
審議結果	1. 上記 4 名を選出する。 2. 物品の保管は事務所にて可能も、鍵の管理は 2 名に限定し、入退室の記録をする。 参加理事全員の賛成を以て承認とする。		

担当理事	和田 幸枝	部 長	安部 敏博
議 題	1. HP のリンクについて		
内 容 ・ 趣 旨	<p>1. HP のリンクについて</p> <p>現在は日本理学療法士協会、四国理学療法士学会、愛媛県作業療法士会、愛媛言語聴覚士会、愛媛県社会福祉協議会のサイトとリンクしているが、追加してほしいとの意見がある。検討いただきたい。</p> <p>候補としては日本理学療法士連盟、厚生労働省、内閣府、愛媛県（庁）、日本医師会、愛媛県医師会、日本看護協会、愛媛県看護協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会が挙げられている。</p>		
協議内容			
審議結果	参加理事全員の賛成を以て承認とする。		

担当理事	吉野一弘	部 長	吉野一弘
議 題	1. 支部長会議メーリング (以下: ML)、支部 ML について		
内 容 ・ 趣 旨	<p>1. 支部長 ML、支部 ML について</p> <p>理事会 ML、部局長 ML との整合性や統一性を考えればチャットワークの運用が望ましいが、チャットワークは各々がソフトを導入する必要があり移行作業が煩雑になる。そのため、支部長 ML、支部 ML については Google グループメールへの移行を考えているのでご意見を伺いたい。</p>		
協議内容	<p>定松：チャットワークはセキュリティが高い。支部レベルならグループメールでもいいのでは。</p> <p>吉野：地域局としてはグループメールを整備して、その後はLINEでの運用も可能という形にしたい。</p> <p>茶家：支部ごとで判断できるということか。</p> <p>吉野：いったんグループメールを作成、その後は支部に任せる方向としたい。</p>		
審議結果	<p>Google グループメールへの移行を一旦行い、その後の運用は各支部にて検討する。参加理事全員の賛成を以て承認とする。</p>		

担当理事	大森 幸美	部 長	後藤 美智子
議 題	1. メーリング等での協議事項及び結果について 2. 表彰委員会委員長について		
内 容 趣 旨	<p>1. メーリング等での協議事項及び結果について報告する (敬称略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「愛媛県障害者ボッチャ大会」のサポート依頼：承諾 ・「ベッドサイド実践講習会」講習会の後援及び講師派遣依頼 ：後援承諾、派遣者 青木卓也 ・西条刑務支所派遣依頼：承諾、派遣者 ・補装具に対するアンケート：回答済 ・杉浦記念財団募集：募集中 ・2019年度日本ALS協会愛媛県支部東予講演会・交流会案内：HP掲載 ・愛媛県保険医協会からのアンケート結果 (現状) の報告 <p>10/26 現在 <回答>10 施設 ◆問題あり：1 施設 (通所を勧めたが拒否、別の診断を付けることも困難であり、自主トレ指導にて終了とした) ◆問題なし：9 施設</p> <p>2. 来年度、委員長が県外へ転出する予定。後任を来月審議する。</p>		
協議内容			
審議結果			

担当理事	木口 大輔	部 長	青木 卓也
議 題	1. 理学療法士講習会及び学術部研修会の報告について		
内 容 ・ 趣 旨	<p>1.</p> <p>1) 理学療法士講習会(応用編) 開催日：2019年8月24・25日(土・日) 受講者数：30名 テーマ：実践！臨床に役立つ臨床研究の具体的手法 ～エビデンスの「つかいかた」「つくりかた」「つたえかた」～ 講師：田中亮先生(広島大学)、内田茂博先生(広島国際大学) 伊藤秀幸先生(山ロコ・メディカル学院) 井上優先生(倉敷平成病院) 田中繁治先生(神奈川県立保健福祉大学)、森川真也先生(放射線第一病院)</p> <p>・収入 423,0008(内訳 参加費：363,000、補助金：60,000) ・支出 385,607(内訳 旅費交通費：164,842、印刷製本費：600、会議費：22,664 講師謝礼金：190,000、雑費：7,501)</p> <p>・収支 37,393</p> <p>2) 理学療法士講習会(応用編) 開催日：2019年9月14・15日(土・日) 受講者数：29名 テーマ：脳卒中に対する座位・立位・歩行の実践的アプローチ -明日からの臨床に活かす理論と実践- 講師：谷内幸喜先生(城西国際大学)</p> <p>・収入 348,000(内訳 参加費：348,000) ・支出 327,812(内訳 旅費交通費：120,010、会議費：21,935、印刷製本費：34,440 講師謝礼金：116,939、会場費：30,000、消耗品費：4,320、通信運搬費：168)</p> <p>・収支 20,188</p> <p>3) 愛媛県理学療法士会主催アカデミックナイトセミナー 第一部 開催日：2019年9月25日(水) 受講者数：89名 テーマ：股関節の外科的治療と後療法 講師：椿崇仁先生(愛媛県立中央病院 整形外科主任部長)</p> <p>・収入 89,000(内訳 県内PT：89,000(1,000×89名)) ・支出 48,519(内訳 旅費交通費：10,000、会議費：5,108、講師謝礼金：33,411)</p> <p>・収支 40,481</p> <p>4) 愛媛県理学療法士会主催アカデミックナイトセミナー 第二部 開催日：2019年10月9日(水) 受講者数：86名 テーマ：肩関節の外科的治療と後療法 講師：山下貢二先生(愛媛十全医療学院附属病院 整形外科)</p> <p>・収入 86,000(内訳 県内PT：86,000(1,000×86名)) ・支出 48,411(内訳 旅費交通費：8,000、会議費：5,000、会場費：2,000 講師謝礼金：33,411)</p> <p>・収支 37,589</p> <p>5) 理学療法士講習会(応用編) 開催日：2019年10月19・20日(土・日) 受講者数：28名 テーマ：下肢の徒手理学療法の評価と治療 講師：林寛先生(彦根中央病院)、近藤正太先生(三津整形外科) 山内正雄先生(首都大学東京大学院)</p> <p>・収入 450,000(内訳 参加費：45,000 2名キャンセルが出たが、収入は30名分) ・支出 408,240(内訳 旅費交通費：144,510、印刷製本費：40,700、会議費：35,988 講師謝礼金：183,762、消耗品費：3,280)</p> <p>・収支 41,760</p>		
協議内容	<p>谷口：補助金についてので了承を得ているのか。次年度からもこのような形になりそうだが、県士会としてルール化した方がいいのではないかな。</p> <p>木口：ルール化を検討する。</p> <p>土居：四国学会の事前申し込みは400名程度。職場で周知してほしい。</p>		
審議結果			

担当理事	土居 誠治	部 長	青木 卓也
議 題	1. 臨床実習指導者講習会 事前調整会議の報告について		
内 容 ・ 趣 旨	<p>1. 臨床実習指導者講習会事前調整会議を10月15日、愛媛十全医療学院で開催した。会議内容を報告する。(敬称略)</p> <p>出席者：定松・木口・越智・名取・金山・大塚・藤原・土居 欠席者：木村</p> <p>1) 演習の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班で発表・司会・書記2名を決めて、演習ごとにローテーションする。 ・演習最終15分で、発表5分、質疑応答5分、班にて報告5分とする。発表者を残して、残りの受講者は別の班に均等になるように移動し、別の班で発表を聞く。 <p>2) 演習担当</p> <p>1班：定松 2班：木口 3班：越智 4班：名取 5班：金山 6班：木村 7班：大塚 8班：土居</p> <p>*講義担当者は、資料の用語、解釈等を確認して講義実施。講義資料通りに進める。演習資料も事前に確認し、演習内容が議題から逸脱していないか、討議が円滑に進むようにファシリテートする。</p> <p>3) 養成校主催の指導者講習会の申し合わせ事項の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成校主催の指導者講習会では、受講者に謝礼・旅費交通費は支給しない。お弁当もなし。講師のお弁当は昼食のみ準備。 ・謝金は2日間で12,000円(旅費交通費込み) ・指導者会議と連続で開催する場合は、指導者会議の日当・旅費交通費はこれまで通り各養成校の規程で支払い。必要に応じて宿泊1泊までは支給可能。(2泊目は支給不可。受講者負担とする) ・養成校主催の場合は、開催校にて受講生の応募を行い、参加者を決定する。定員に満たない場合、士会へ報告し士会からの参加を受付ける。 <p>4) 次年度以降の士会主催の指導者講習会の開催に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内3校の共通の意見としては、可能であれば、年に1回士会主催で開催をお願いしたい。 <p>理由：今回申し込みのあった156名から、申込者の施設における指導者講習会の受講希望者数を調査した。</p> <p>1~5名希望者がいる : 77人 6~9名希望者がいる : 21人 10人以上希望者がいる : 10人 未回答 : 48人</p> <p>*今後数年間は、希望者が多い状況が予測される。また、評価実習のみ受け入れている小規模な施設では、養成校主催の講習会への参加が定員の関係から難しく、士会主催の講習会しか受講のチャンスがない。</p>		
協議内容	<p>11月3, 4日 臨床実習指導者講習会 78名参加(2名欠席)</p> <p>土居：交通費がかかりすぎている。長続きするためには検討が必要。(別途で宿泊費を出す等)。来年度以降学術部での規定に合わせて、講師代を1日1万円にして、資料代として1000~2000円くらいの参加費徴収をしてもいいのでは。</p> <p>谷口：県外からの申し込みは？(5人程度) 県士会、3養成校で予算を均等割して東・中(2回)・南予で開催してはどうか。</p> <p>定松：土居先生に任せている部分大きい。</p> <p>土居：養成校側としてはきちんと主催してほしいと考えているところもある。参加者の確認が大変。</p> <p>定松：県外の病院の先生も受講するので養成校とする意味もある。</p> <p>谷口：であるなら、県士会での講習会で参加費を取るのはいくはないのではないか、合わせる必要がある。各養成校の開催予定はどうか？</p> <p>土居：3月20日バイザー会議、21日、22日に講習会実施。HPへの掲載と実習先に封書で送付する。(愛媛十全)</p> <p>金山：5月か6月に予定している。バイザー会議とは別。(四国中央)</p> <p>木村：9月末バイザー会議の際アンケート実施。来年は8月後半~9月頭で講習会、9月後半指導者会議を実施予定。(河原)</p>		
審議結果			

担当理事	土居 誠治	部 長	尾坂 良太
議 題	1. 新人研修会の報告について 2019年度 第10・11・12回		
内 容 趣 旨	<p>1. 新人研修会の報告</p> <p>第10回新人研修会：9月27日（金）伊予病院 E-3:9名(愛媛8名、香川1名) D-3:15名(愛媛14名、香川1名)</p> <p>第11回新人研修会：10月4日（金）愛媛十全医療学院 D-4:17名(愛媛15名、広島1名、香川1名) B-1:20名(愛媛18名、広島1名、香川1名)</p> <p>第12回新人研修会：10月27日（日）愛媛十全医療学院 B-2:57名(愛媛57名) B-3:50名(愛媛49名、兵庫1) B-4:50名(愛媛49名、兵庫1)</p>		
協議内容			
審議結果			

担当理事	吉野一弘	部 長	松岡栄二郎
議 題	2. 事業報告について		
内 容 ・ 趣 旨	<p>1.事業報告について</p> <p>1) 新居浜市 新居浜市地域ケア会議 第6回 令和1年9月26日(木) 出席者1名 第7回 令和1年10月23日(水) 出席者1名</p> <p>2) 松山市ケアプラン検討会 令和1年10月25日(金) 出席者1名</p> <p>3) 地域ケア会議推進リーダー研修会 令和1年10月27日(日) 出席者6名 参加者12名</p>		
協議内容			
審議結果			

担当理事	伊東 孝洋	部 長	武智 政公
議 題	1. 第14回運動器フォーラム開催報告について		
内 容 ・ 趣 旨	<p>1. 第14回運動器フォーラム 日時 9月29日(日)13時～16時 会場 愛媛県医師会多目的ホール 参加者数108名 ロコモ度テスト参加者63名 参加スタッフ数 18名</p>		
協議内容			
審議結果			

担当理事	中尾 聡志	部 長	成田 甲子朗
議 題	1. 高校野球支援事業について 2. 愛媛マラソン支援事業について 3. メディカル研修事業について 4. 障害者スポーツ支援事業について		
内 容 ・ 趣 旨	1. 高校野球支援事業 1) 秋季四国地区高等学校野球 愛媛大会のメディカルサポート ・ 10月5(土)、12(土)に、大会中のメディカルサポートを実施した ・ 坊ちゃんスタジアムで計4試合が開催され、参加PT：延べ12名 2. 愛媛マラソン支援事業 1) 第58回愛媛マラソンメディカルサポート募集について ・ 第58回愛媛マラソンメディカルサポートのサポートスタッフ募集を開始 ・ 定員60名に対し26名申し込み(11/5現在)、締切11/17予定 2) 愛媛マラソンメディカルサポート研修会開催日程について ・ 開催日：2020年2月2日(日) 開催(予定) ・ 会場：愛媛県立中央病院リハビリ室(予定) ・ 内容：一次救命処置・搬送方法、ランナーへの対応方法(テーピング・ストレッチ等) ・ 講師：検討中 3) 愛媛マラソンメディカルサポート研修会(市民公開講座)について ・ 開催日：2019年10月20日(日) ・ 会場：大洲市民体育館 ・ 参加者：26名、理学療法士：6名 3. メディカル研修事業 ○2019年度第2回スポーツ支援部研修会について ・ 開催日：2019年10月12日(土) ・ テーマ：return to play 膝前十字靭帯損傷の理学療法 ・ 講師：上池 浩一先生(つばさクリニック) ・ 参加人数：31名 4. 障害者スポーツ支援事業 1) 第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会2019」について ・ 参加者：藤田典道先生(県立今治病院)、松田聖一先生(あき整形外科)、木俣拓夢先生(済生会西条老人保健施設いしづち苑) ・ 日程：10月10日(木)～15日(火)だったが、全競技の中止が決定し、11日貸切バスにて愛媛へ帰県 2) 障害者サイクリング大会について ・ 開催日：2019年10月27日(日) ・ 参加者：林茂広先生(伊予病院)、横前直樹先生(国保一本松病院) ・ 謝金は県士会口座に入金される 3) 愛媛県障害者ポッチャ大会について ・ 開催日：2019年11月17日(日)(予定) ・ 障害区分判定にて1名程度参加依頼あり 横前先生、木俣先生参加予定 ・ 謝金は県士会口座に入金される 4) 障害者スポーツ研修会について ・ 開催日：2020年1月26日(日)(予定) ・ 会場：愛媛県身体障害者福祉センター(予定) ・ 県障害者スポーツ指導者協議会・協会と共同開催予定 ・ 研修内容：中級障がい者スポーツ指導員養成講習会について、茨城大会帯同報告について等		
協議内容			
審議結果			

担当理事	吉野一弘 加地和正	部 長	
議 題	1. 東予地区支部長会議の報告		
内 容 ・ 趣 旨	<p>.2019年10月25日(金)19:30~21:00 ながやす整形外科クリニックにて開催 参加者：吉野・神野・横内・池内・渡部・加地</p> <p>内容：地域局支部設立の経緯・理由について再確認を行った。 今後の活動について検討した。</p> <p>検討事項並びに今後の予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 勉強会や研修会の情報公開→各支部での勉強会や研修は行われている。各勉強会の案内は、支部長(担当理事確認)を通じて行っていただき、また今後登録理学療法士に向けて各支部での研修会の必要性を認識して頂いた。 2. 55周年記念事業に関して理事会の結果にて、東予地区でも検討。四国中央市では、フジで3回の介護予防事業の実績があり。どの地区で行うにしても開催半年前からの準備が必要。 3. MLを他の方法に変更を検討していく。11月中には移行。 4. 臨床実習指導者講習会の今後の予定や指導者が足りうるかの危惧している。定期的な会議の開催の要望があった。 		
協議内容	<p>加地：7月開催なら1月くらいから活動が必要。 支部長の登録メールが病院の場合がある。</p>		
審議結果	<p>55周年事業は12月8日協会の拡大理事会にて方向性が決定される予定。 その後理事会で内容を決定する予定。</p>		

担当理事	伊東 孝洋	部 長	
議 題	1. 第13回 J I M T E F 災害医療研修会ベーシックコース参加報告について 2. 第11回 J I M T E F 災害医療研修会アドバンスコース参加報告について		
内 容 ・ 趣 旨	1. 第13回 J I M T E F 災害医療研修会ベーシックコース 会場 独立行政法人国際協力機構東京センター (東京 J I C A) 日時 9月21日(土) 13時から18時30分 9月22日(日) 9時から15時 参加者 伊東 孝洋 台風15号の影響があったが、研修会は開催された。 2. 第11回 J I M T E F 災害医療研修会アドバンスコース 会場 独立行政法人国際協力機構関西センター (J I C A 関西) 日時 10月5日(土) 13時から18時30分 10月6日(日) 9時から13時10分 参加者 定松 修一		
協議内容			
審議結果			

担当理事	定松修一・木口大輔・土居誠治	部長	尾坂 良太
議 題	1. 組織運営協議会の報告 (10月20日開催) 1) 55周年記念事業に関して 2) 認定PT・専門PTの概観について 3) 組織体制強化の方向性について 4) 今後のシルバーリハビリ体操指導士養成事業の全国展開について 5) 臨床実習指導者講習会について 6) 学校保健に関する担当者選出のお願いについて 7) 2020年重点課題案について 8) その他		
内 容 ・ 趣 旨	1. 組織運営協議会の報告 1) 55周年記念事業に関して (別紙参照) ・新聞広告・理学療法啓発グッズは協会で作成 (決定事項) ・100万円を上限に助成。(条件:日本理学療法士協会創立55周年記念事業の名称を入れる。決められた開催期間の啓発活動に資するもの。報告書を提出) 2) 認定PT・専門PTの概観 (別紙参照) ・医療広告ガイドラインの「広告可能事項の限定解除要件」に関して。 自院のHPに 「理学療法士 日本太郎 (日本理学療法士協会認定 運動器認定理学療法士) 認定理学療法士についての問い合わせ先:03-0000-0000)との掲載が可能になった。〇〇指導医の掲載は不可。「日本運動器理学療法学会会員」の表記は不可。 ・医療広告ガイドラインを目指す制度ではなくなった。取得者へのインセンティブに関して、ISOへの登録などが考えられる。今後検討。更新に関しては別紙参照。今後も変更される可能性あり。認定・専門PTに関しては現行制度に近い制度である。当初の予定通り2021年より開始。2020年度が旧制度で認定・専門PT取得の最終年である。旧制度下での認定・専門PT取得を推進。 3) 組織体制強化の方向性について (別紙参照) 2020年の6月の総会提出が目標 4) 今後のシルバーリハビリ体操指導士養成事業の全国展開について 3年間の成果報告 (別紙参照) 5) 臨床実習指導者講習会について (別紙参照) ・都道府県講習会 講師世話人要件の変更:2020年度までは、一部に都道府県講習会修了した者が講習会の補助をする事は差支えない。2021年度以降は都道府県協議会および都道府県士会長が認めた者でも講師・ファシリテーターが可能。 2020年度中央講習会は5回程度開催予定。臨床実習指導者講習会の開催マニュアルを発行。登録理学療法士 後期研修の修了要件の一部に入る可能性がある。今後、OTとも講習内容を協議する予定。 6) 学校保健に関する担当者選出のお願いについて 別紙参照。2020年2月2日(日)担当者会議開催予定(愛媛十全医療学院 岩本担当) →9月下旬に、みなら特別支援学校(東温市)に運動器検診に行った際に、愛媛大学の高橋先生から、PT向けに講演したいとお話があった。 7) 2020年重点課題案について 別紙参照。 8) その他 ・足病変予防研修事業に関して ・管理者ネットワークに関して ・会館設立に関して。2020年4月頃完成予定		
協議内容			
審議結果			